

Makuhari's Memory

メンバーといっしょに人事評価と向き合った5日間

幸手市は平成28年に人事評価制度を見直してから10年目で、新しい働き方や考え方に対応する時期がきていました。そこで、再び制度の見直しをするにあたり、何かヒントがほしい、しっかりと知識を身に付けたいと思い、7月に「人事評価制度の改善と活用」を受講しました。

研修では、制度見直しの考え方やポイントを理解でき、その上で、演習で自分の自治体の評価シートを使って見直す箇所を確認できる、まさに実践的な内容でした。

班演習で、全国の自治体から集まったメンバーと情報交換や意見交換をし、同じように課題を抱え、解決しようとしていることが分かりました。これからも相談できる仲間ができたことを心強く思います。

また、地方自治を研究されている大学教授の講師の方々からは、地方自治の今後の動向を踏まえ、人材育成や人材確保の観点から御講義いただき、人事評価制度を広い視野で捉えることができました。

た。

人事評価は処遇に反映するものと考えがちですが、本質は人材育成に繋がる制度であることを改めて実感しました。職員ひとりひとりに高い能力が求められる中、今回の研修を活かし、職員のやる気を引き出す、能力を高める人事評価制度にしていきたいと思います。

最後に、研修所でお世話になった職員のみなさん、いっしょに研修で学んだみなさん、研修に参加させてくれた職場のみなさん、ありがとうございました。



戸塚 陽子

埼玉県幸手市
総務部庶務課人事給与担当主席
主幹
〈受講研修科目〉
人事評価制度の改善と活用
第39期第1組（令和7年度）